

はやぶさ運動広場移転に係る基本構想(案)に対する市民意見募集結果と市の考え方

1 意見募集の結果

- (1) 意見募集期間 令和元年12月6日(金)から令和2年1月6日(月)まで
- (2) 計画(案)配置場所 本庁舎情報公開コーナー、情報図書館、各公民館、各体育館、青年センター、大麻出張所、水道庁舎証明交付窓口、市民会館、鉄南地区センター、豊幌地区センター、総合社会福祉センター、教育部スポーツ課 計16か所
- (3) 提出いただいた意見
 提出者数 : 3人
 意見数 : 3件

2 はやぶさ運動広場移転に係る基本構想(案)に対する意見概要と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受け入れて案を修正するもの
B	案は修正しないが、今後の進め方等において参考とするもの
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
D	これまでも取り組んできているもの
E	案に取り入れなかったもの

(2) ご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	<p>はやぶさ運動広場が大麻から美原地区に移転させる意図として、市教委は面積が広くない現在の同広場で改善を試みるよりも、面積に余裕のある場所に移して広場を維持したほうがよいと判断しています。</p> <p>私は高校生時代に美唄市から江別市に移り住んできました。美唄市はスポーツといえば、アウトドアスポーツです。</p> <p>江別市はスポーツというと、インドアスポーツが主なような印象を受けました。</p> <p>同広場が移転して、アウトドアスポーツものびのびとできる広場づくりを教育・スポーツ行政には期待しています。</p>	<p>はやぶさ運動広場は、施設の老朽化や本部席裏の植樹帯の安全対策、水飲み場の衛生対策などの課題を抱えております。他にも周辺環境の変化により近隣への飛球の飛込みや騒音・砂ぼこりなど様々な課題解決が必要となっており、移転を要する状況となっております。</p> <p>移転先については、周辺環境の状況や造成面積・駐車場の確保等を勘案し選定しております。</p> <p>利用者が安全で快適に伸び伸びとスポーツができる施設となるよう進めてまいります。</p>	C

No.	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
2	<p>第1 少年野球場及びテニスコートについて 【意見】①両物件とも移転には、異存はない。 しかしながら、次項第2に関連が有るので留意されたい。</p> <p>第2 多目的広場（芝生面）について 【意見】①移転は絶対反対する。 その理由：（ア）第1項の野球場及びテニスコートを含めてであるが、本広場全体は、江別市（総務部危機対策防災担当）が指定（令和元年12月作成版の「防災あんしんマップ」）の緊急避難場所（地震）地区である。 この重要案件をどう処置されるかを聴きたい。 更に、（イ）市長が環境基本条例等で提唱する公園や緑地など自然環境の適正な整備及び健全な利用など政策を、市民（関係地域住民）に、どう理解させようと考えているのかについて問いたい。 （ウ）加えて、当マンションは、平成4年に竣工し予定居住者の多くは、殆どが即入居した模様である。 そして、おおむね15年後位経ってからか、“癒す”のキーワードが街を蔓延化し出し、当マンション内もご多分に漏れず、活性化した。 傷病者、温泉に浸る人、悲痛者、失恋者、目出度い人、公園などでは乳幼児児童と戯れる親や祖父母、キャッチボールを楽しむ親子、そして更には、ペットの運動や戯れにいそしむ主婦たち。 これら光景を窓越しに眼を細めながら見遣るお年寄り達にとっては、家庭の側で、五感（視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚）が失する環境に陥る事により、生活環境から逸脱させられた存在となる。 【意見】②結論 以上の観点から、「多目的広場（芝生全面）」を現存の方向で要望する。</p>	<p>当基本構想では、少年野球場と多目的広場（ウォーミングアップスペース）を移転し、テニスコートについては、現在の利用団体が継続的に活動できるよう活動場所の確保をし、また、ゲートボール場については、現在利用者がいない状況であるため廃止することとしています。 いただいたご意見については、移転後の跡地利用の検討を進める際に参考とさせていただきます。 なお、指定緊急避難場所の扱いについては、跡地利用の方向性に応じて防災担当と調整してまいります。</p>	B
3	<p>「はやぶさ運動広場の移転構想」を一読し、確かに施設の老朽化等課題があることがわかりました。 しかし、この場所は、「指定緊急避難場所」になっているのも事実です。 居住する一人として、テニス場、ゲートボール場をつぶし、緑地として小さな公園施設として要望します。緊急避難場所としても活用できるはず。</p>		B